

尿毒症



尿毒症とは？

腎臓の機能不全および尿排出不全により、枝肉や内臓などから強い尿臭を放つことが多い病気です。主な原因は、尿道結石などで尿道が閉塞し、排尿障害をきたすことです。雄で発症することが多いです。

【症状】

尿の減少、下腹部の浮腫、口腔などの尿臭、興奮や沈うつなどの神経症状

【と畜検査でみつける異常】

- ・尿道閉塞(尿管結石)
- ・膀胱破裂、膀胱粘膜の充血・出血・潰瘍、膀胱結石
- ・腎腫大、腎壊死、腎結石、腎炎
- ・各内臓の炎症
- ・枝肉の尿臭

腎臓の炎症(腎炎)

腎臓(正常)

膀胱結石

尿管結石



【滋賀県食肉衛生検査所の廃棄基準】

生体時の症状、と畜検査での異常、血液検査結果を総合的に判断し、尿毒症と判定された場合に全部廃棄とする。

【当所での発生状況 年度別廃棄頭数(牛)】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
尿毒症頭数/ 全廃棄頭数 (全廃棄中%)	6/14 (46.15%)	0/17 (0%)	1/15 (6.66%)	3/14 (21.4%)	1/12 (8.33%)